

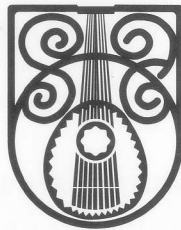
オルケストラ シンフォニカ 東京

第 58 回

定期演奏会

平成 29 年 4 月 9 日 (日) 午後 2:00 開演

第一生命ホール



O S T の歴史

- 1915(大正 4)年 9 月 : 武井守成*¹楽団創設
- 1916(大正 5)年 4 月 : 楽団名をシンフォニア・マンドリニ・オルケストラと称する
- 1923(大正 12)年 11 月 : 楽団名をオルケストラ・シンフォニカ・タケキに改称
- 1949(昭和 24)年 11 月 : 戦後初めての定期演奏会開催(第 49 回)
- 1949(昭和 24)年 12 月 : 武井守成 逝去
- 1953(昭和 28)年 5 月 : オルケストラ・シンフォニカ・タケキ 第 55 回演奏会開催
- 1954(昭和 29)年 : 杉並マンドリンアンサンブル創立
- 1955(昭和 30)年 10 月 : 杉並マンドリンアンサンブル 第 1 回演奏会(通算 56 回)
- 1956(昭和 31)年 7 月 : オルケストラ・シンフォニカ・タケイに改称 第 57 回演奏会開催
- 1958(昭和 33)年 12 月 : オルケストラ・シンフォニカ・タケイ 解散
- 1959(昭和 34)年 12 月 : 杉田村雄*²オルケストラ・シンフォニカ・タケイを復興
本楽団第 1 回定期演奏会開催
- 1986(昭和 61)年 7 月 : 杉田村雄 逝去
- 1987(昭和 62)年 5 月 : 楽団名をオルケストラ・シンフォニカ・東京に改称
- 2016(平成 28)年 11 月 : 10 月 11 日(武井守成の誕生日)がマンドリンの日と設定される
- 2017(平成 29)年 4 月 : 第 58 回定期演奏会開催

* 1) 武井守成 (たけい もりしげ : 1890年10月11日~1949年12月14日)

枢密顧問官武井守正の二男として鳥取に生まれる。宮内省楽部長・武部官長、男爵。
マンドリン合奏団『オルケストラ・シンフォニカ・タケキ』(O S T)を主宰し、マンドリン合奏曲・ギター独奏曲の作曲家として活動。また雑誌『マンドリンギター研究』を発刊し、1923 年にマンドリン合奏コンクール、1924 年に作曲コンクール、1927 年にはマンドリンオーケストラ作曲コンクールを開催してマンドリン・ギター音楽の発展に尽力した。

* 2) 杉田村雄 (すぎた むらお : 1903年2月14日~1986年7月17日)

八王子・南多摩郡多摩村の村医杉田武雄の長男として生まれる。
暁星中学時代、クラスメートの斉藤秀雄とともに比留間賢八に師事、2 人で暁星マンドリン倶楽部から静美社音楽部へと音楽活動を進める。
1939 年 O S T に入団。戦時中、武井守成氏の多摩村東寺方への疎開に尽力し、音楽関係楽譜・資料も戦火を免れる。
武井氏逝去後、O S T の再興にあたり理事長および指揮者を務める。武井氏の楽譜出版に尽力。日伊音楽協会理事長、日本マンドリン連盟副会長を歴任し斯界に貢献された。

指揮： 嶋 直 樹

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 弦楽のためのセレナード 木短調
第2楽章 ラルゲット | E. エルガー (嶋 直樹編) |
| 2. こどもの夢 | E. イザイ (嶋 直樹編) |
| 3. 伝説 第1番 二短調 | A. L. ドボルザーク (嶋 直樹編) |
| 4. 結婚行進曲 | T. クーラ (嶋 直樹編) |
| 5. 「3つの軍隊行進曲」より 第1番 | F. P. シューベルト (宮吉寛編～嶋直樹改) |

指揮：石井啓之

1. 夏の組曲 第4章「花火見る子ら」 武井守成
2. ひと夏の経験 都倉俊一（石井啓之編）
3. 夏の唱歌メドレー 武藤理恵・石井啓之編
4. 山河緑照 藤掛廣幸

《 休 憩 20分 》

指揮：山本雅三

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 夢!うつつ! | U. ボッタキアリ |
| 2. 牧歌的セレナータ 乙女の唄 | U. ボッタキアリ (松本 譲編) |
| 3. 歌劇「仮面」序曲 | P. マスカーニ (ボッタキアリ編) |

曲 目 解 説

第 一 部

「弦楽のためのセレナード 木短調」より 第2楽章 ラルゲット E. エルガー

エドワード・エルガー（1857年～1934年）はイギリスの作曲家で進行曲「威風堂々」、「愛の挨拶」など多くの曲を作っています。この曲は妻キャロライン・アリスとの3回目の結婚記念日のプレゼントとして贈られた「弦楽オーケストラのための3つの作品」が改作されたもので、第2楽章のラルゲットは単独で演奏されることも多い穏やかな抒情的な曲です。

こどもの夢

E. イザイ

ウジェーヌ＝オーギュスト・イザイ（1858年～1931年）はベルギーのヴァイオリニスト、作曲家、指揮者です。管弦楽団のコンサートマスターを務めるかわら独奏者としての演奏活動も行っていました。作曲家としてはヴァイオリンのための作品を数多く残しています。この曲はヴァイオリンと管弦楽のための作品として作られましたが現在では様々な楽器の独奏曲としても演奏されています。

伝説 第1番 二短調

A. L. ドボルザーク

アントニン・レオボルト・ドボルザーク（1841年～1904年）が作曲した「伝説」は全10曲からなり当初はピアノ連弾曲として作られ、その後管弦楽用に編曲されました。その数年前には「スラヴ舞曲集」が作られていますがこの「伝説」もチェコの民族色が強く表現されています。力強いテーマと抒情的なメロディーとが交互に表現され最後は静かに終わっていきます。

結婚行進曲

T. クーラ

トイヴォ・クーラ（1883年～1918年）はフィンランドの作曲家・指揮者です。この結婚行進曲はクーラの友人エンミとユルヨ・プトウキネンに捧げられました。ワーグナーやメンデルスゾーンの華々しい結婚行進曲とは違い、荘厳な雰囲気の中に優しさを持った曲で今もフィンランドでは結婚式に使われる人気の作品です。

「3つの軍隊行進曲」より第1番 二長調

F. P. シューベルト

フランツ・ペーター・シューベルト（1797年～1828年）はオーストリアの作曲家で様々な名曲を残しています。この軍隊行進曲はピアノ連弾曲として作曲されました。本日演奏する第1番が特に有名でピアノ独奏や吹奏楽・管弦楽などで演奏されています。宮吉寛氏がマンドリン合奏のために編曲したものをベースに嶋がO S Tの楽器編成に合わせて改編しました。

（文責 嶋）

第二部

今回の第二部は「夏」をテーマとしました。

夏の組曲 第4章「花火見る子ら」

武井守成

武井守成が1928年に作曲した「夏の組曲」の第4章です。夏の風物詩の代表といえるのが花火でありましょう。特に夜空に大輪の花を咲かせる打ち上げ花火は、見る者に爽快感を与えるとともに、消えてゆくときの儚さを感じさせるものです。子どもたちにとっても大きな楽しみでありましょう。作者の言葉によりますと、『花火の夜を待つ子どもたちの楽しさと焦れる思い、打ち上げられた花火の五彩のきらめき、子どもたちの嘆美の歌』を綴ったものとあります。打楽器を効果的に用いて、夏の夜空の情景を思い起こさせるものになっています。

ひと夏の経験

都倉俊一

この曲は、作詞は千家和也、作曲は都倉俊一で、1974年6月にリリースされた山口百恵の5枚目のシングルレコードです。リリースされて3週目でオリコンのベストテンに登場し、最高3位まで上昇し、1974年の年間第15位にランクされ、累計売上は75万枚を記録しました。この曲がヒットしたことに伴い、百恵はトップアイドルに上り詰めたと言われています。第16回日本レコード大賞・大衆賞、第5回日本歌謡大賞・放送音楽賞を受賞し、第25回NHK紅白歌合戦に紅組のトップバッターとして初出場を果たしました。O S Tとしては異質な曲ではありますが、往時を思い出して楽しんでいただければ幸いです。

夏の唱歌メドレー

武藤理恵・石井啓之編

日本は四季に恵まれ、季節折々が唱歌として残されています。夏の曲もたくさんありますが、本日は、林柳波作詞、井上武士作曲の「海」(1941 年)、佐佐木信綱作詞、小山作之助作曲の「夏は来ぬ」(1896 年)、作者不詳の「茶摘み」(1912 年)、江間章子作詞、中田喜直作曲の「夏の思い出」(1949 年)の4曲メドレーでお届けします。

山河緑照

藤掛廣幸

原曲は、1999 年岐阜県で行われた「国民文化祭／邦楽の祭典」の為に、琴、尺八、三味線、十七絃による計 100 名の邦楽合奏の為に作曲、作曲者の指揮により初演されました。

山々の緑が川の水面に美しく照り映える……というイメージのタイトルが、まず最初に出来上がりメインテーマが湧き上がってくると、作曲はスムーズにはかどっていきました。

大好評だったこの原曲をもとにマンドリンオーケストラの機能にマッチするように書き直したものが、この作品です。(作曲者解説)

(文責 石井)

第三部

夢！うつつ！

U. ボッタキアリ

牧歌的セレナータ 乙女の唄

U. ボッタキアリ (松本 譲編)

歌劇「仮面」序曲

P. マスカーニ (ボッタキアリ編)

第三部ではマンドリン界で高い人気を誇る「交響的前奏曲」(第 54 回定演で演奏)の作曲者ウーゴ・ボッタキアリの魅力に迫ってみたいと思います。1879 年イタリアのカステルライモンド生まれ(1944 年コモで没)。ロッシーニ音楽院で「カヴァレリア・ルスチカーナ」で高名なマスカーニの教えを受けています。作品は管弦楽、オペラなどクラシック全般多岐にわたりますが、現在では特にマンドリン合奏曲が際立って多く演奏されています。作風はロマンチックな情感に溢れ、緻密なオーケストレーションから紡ぎだされる響きは演奏者の心を強く揺さぶります。

セレナータ・ロマンティカの副題を持つ夢！うつつ！はマンドリン曲としては珍しくピアノがオリジナルの編成に組み込まれ、効果的に奏されます。1908 年の結婚と同じ年に発表され、スコアには「わが愛しいエルヴィラ（妻）、大いなる愛情をこめて」と付記があり、曲全体が深い愛情に包まれているように感じます。

牧歌的セレナータ 乙女の唄はボローニアの出版社主催の国際コンクールの入選曲で、フィレンツェの新聞には「ボッタキアリのより良い作品の一つであろう」と称賛記事が掲載されました。マンドリン 2 部とギターの編成で出版された原曲を松本譲（1928 年～1996 年）氏がマンドラ、セロ、マンドローネ、ベースを加えて編曲し、同氏編集のボッタキアリ集Ⅱ（オザキ企画発行）に収録出版した楽譜を演奏します。冒頭はギターのカデンツァで始まります。

歌劇「仮面」序曲は自らの音楽の師であるマスカーニの作品をボッタキアリがマンドリン合奏用に編曲した作品です。その元となるコメディタッチの意欲的なイタリアオペラは 1901 年に初演されましたが現在ほとんど上演機会が無く、またこの曲自体もオーケストラで演奏されることが少ない反面、この編曲はあたかもオリジナル作品のごとく我が国マンドリン界では今もなお数多く演奏され愛されています。単音の連続したピッキングとトレモロ奏法のコントラストが鮮やかに、急速なテンポで起伏に富み、軽やかに劇的な展開を見せて進行します。オペラ初演時の記念品葉書に描かれた様子からは、舞台には仮面をかぶった役者が多数登場し活躍したようです。



オペラ初演時の記念品葉書

劇のあらすじ：金持ちのパンタローネは娘のロザウラを陸軍大尉と無理やり結婚させようとするが彼女にはすでに恋人のフロリンドがいた。知人の商人ブリゲッラとその婚約者コロンビーナに相談し「自分の名前もわからなくなる秘薬」をワインに混ぜてふるまい、結婚式は大混乱となるも、大尉のカバンの中身から泥棒、ペテン師であることが露見し、恋人同士はめでたく結ばれる。

（文責 山本）

*フルート、クラリネット、ピアノは菅原明朗氏が加筆編曲し、かつてOSTで演奏したパート譜を使用しています。

出 演 者

指 揮 者：山 本 雅 三 嶋 直 樹 石 井 啓 之

コンサートマスター：田 中 尊 子 小松崎美奈子

第一マンドリン：	田 中 尊 子 小松崎美奈子	田 島 明 子 大 口 千 秋	金 勝 溪 子 神 敏 子	本 間 輝 樹 新 美 恵 子 内 野 典 子
第二マンドリン：	富 田 容 子 高 嶋 明 美	木 村 栄 子 後 藤 俊 明	中 村 順 子 渡 辺 か お る 宮 澤 八 重 美	岩 崎 宏 子 宮 崎 俊 行 鈴 木 園 子
マンドラテノール：	新 谷 文 子 阿 形 佳 美	滝 田 ふ さ 子 田 中 倭 文 子	渡 辺 清 佐 々 木 興 治 荻 本 妙 子	深 野 靖 夫 伊 藤 安 子 関 谷 裕 子
ギ タ ー：	小 林 透 高 嶋 典 子	平 田 陽 一 戸 次 脩	門 田 雄 二 船 崎 薫 五 十 嵐 豊	原 島 美 歩 澤 田 行 雄 山 崎 豊
リュートモデルノ：	嶋 直 樹	石 井 啓 之	山 本 雅 三	
マンドロンチェロ：	田 村 美 恵 子			
マンドローネ：	小 川 眞 寿 美	吉 尾 浩		
コントラバス：	佐 藤 正	石 黒 不 二 夫	★樺 澤 と も 子	★清 水 威 志
フ ル ー ト：	★松 尾 圭 子			
クラリネット：	★福 嶋 美 香			
ピ ア ノ：	★浦 畠 晶 子			
打 楽 器：	★飯 野 晶 子		★岡 谷 有 紀	

(★=賛助奏者)

幹 事：平 田 陽 一 (代表) 山 本 雅 三 嶋 直 樹 船 崎 薫
小松崎美奈子 阿 形 佳 美 石 井 啓 之 高 嶋 典 子
吉 尾 浩
会 計 監 事：本 間 輝 樹

《第59回定期演奏会のお知らせ》

◎日時:平成**30**年**4**月**8**日(日)午後 2:00 開演 ◎会場:第一生命ホール(晴海・トリトンスクエア)

オルケストラ シンフォニカ 東京 (O S T)

連絡先：〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西5-21-1 平 田 陽 一

T E L : 044-989-1987 E-MAIL : chokoku@jcom.home.ne.jp

ホームページ : <http://ostokyo.info/>